



インターンシップ地域研修

(平成23年2月10日～25日)

最終報告書



第5期 インターン生
さち



<はじめに>

インターンシップ研修への参加理由・目的

私は将来、旅行・観光関連の仕事に就きたいと思っており、これまで資格の勉強をしていたこともあり、今回研修へ参加しました。

目的としては、現場へ実際に足を運ぶことにより、今まで知り得なかった現場における「視点」を知るとともに、

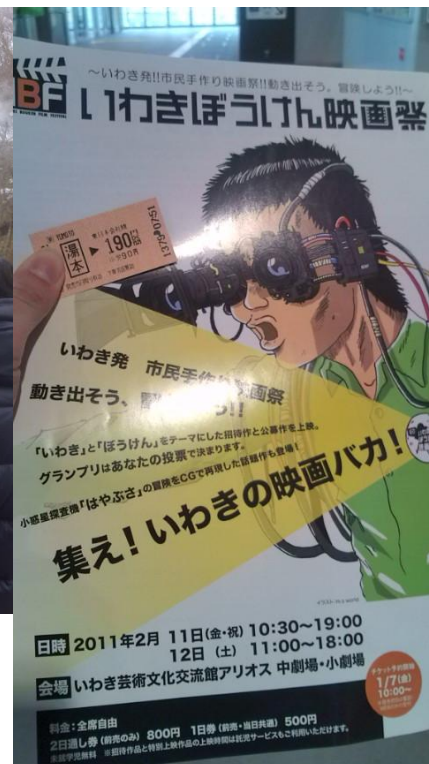
「じゃあもし自分なら、どのようにしていくか」など、自分に置き換えた場合の「考え方」を深めていこうという、大きく以上の2点です。

また、大学では地産地消について学んでいるということもあり、いわきの地産地消のものとしてはどのようなものがあるかも調べていけたらと思っています。



<研修内容>

- フラオンパーク・・・1
- 会津暦・・・2
- 古滝屋・・・3
- 農家見学・・・4



- いわきぼうけん映画祭(集計作業)
- 地域創造プロデューサー養成講座
- 郷土愛発掘隊
- 8の字プロジェクト
- 湯本散策

} これらへの出席

- 美和の手打ちそば講習会の見学・直売所の訪問・・・5



1、いわきフラオンパク

I、「オンパク」とは？

①交流 ②体験 ③保養

以上3つの柱を基本構想にして、観光及び交流人口の増加を図り、「心と体が健康で楽しい暮らし」を提案するとともに、いわき市内の宝物を探し出し、磨き上げ、参加型・体験型プログラムを展開し、参加者と主催者のふれあい、市民交流を通し、地域の活性化を図るイベント的プログラム。別府八湯温泉泊覧会がもとになっており、ハワイアンズにちなんだ“フラ”と“オンパク”を組み合わせ、“フラオンパク”と命名。

II、フラオンパクのテーマ

“いわきの新しい滞在型観光スタイル”を構築すること



Ⅲ, 取り組み内容

- イベント(第4回いわきフラオンパク)の準備
 - A) クーポンへの押印作業
 - B) クーポン対象企画の見直し
 - C) 古滝屋の若だんな、里見喜生氏への企画案のプレゼン発表

<活動場所>

湯本 宿や会館内のフラオンパク事務所、
古滝屋



☞ いわきフラオンパクのパンフレット(右上)と、
企画案の写真(右)

2、 会津暦 ―会津暦復刻プロジェクト

I,「会津暦」とは？

- 江戸時代、会津若松の諏訪神社の神官によって作られ、七日町通りの菊地庄左衛門らが印刷していたとされる地方暦。日本三大暦の一つでもある。
- 版画の手法などは当時の会津の技術力の高さを表し、広範囲で頒布されていたとのこと。

II,取り組み内容

- 協議会・評議会規約の作成
- イベント(会津暦復刻プロジェクト 平成23年3月26日開催予定)の準備
 - A) マップ作成に向けての情報収集、七日町散策
 - B) 会津への格安アクセス方法の検索、資料づくり
 - C) コピー作業

<活動場所> 福島高専、素材広場



3、古滝屋 ……いわき市 常磐 湯本町

○ I, 旅館概要

創業元禄八年の元禄彩雅宿

収容人数:360名様

客室総数:60室

露天風呂付客室4室

デザイナーズルーム・花心楼4室



温泉:いわき湯本温泉“天然温泉100%かけ流しの宿”

平成22年7月には「天女の湯あみ」がオープン

…女性宿泊者専用露天風呂、女性集客率upが目的
また、バルネオセラピスト(温泉保養士)が20名活躍

…旅館としては全国最多！

☞「天女の湯あみ」の写真



Ⅱ, 取り組み内容

○ 星 則光氏 (ホテルオークラの元料理長) との対談

現在、古滝屋の料理についての指導をしている星氏。彼はトレーサビリティと無添加をテーマに、安全な料理を広めるためのさまざまな講演・取り組みを行っている。それをするにあたり、これまで自らアナログで数値を覚え、現在デジタル化してデータで広めているとのこと。



素材の味を最大限に生かして食することのできる、**50℃**のお湯による野菜の雑菌除去法は、実際に古滝屋の調理においても活かされているとのことだった。

☞ 対談後、星氏と。



- 鴻野 春典部長のもと、阿武隈高原PAと安達太良SAのお土産品の売り方の違いについて案内していただいた

阿武隈高原PA

- 一般的なSAとほぼ変わらず、お土産品も他の商品と同様に陳列されている。

安達太良SA

- 見せ方が大幅に違う。注目・押しのお土産品には値段の欄にコメントが付け加えられていたり、加工品にはその調理法を紹介していたり、福島県産の食材の売り場には、生産者の顔写真とメッセージを載せているなど、さまざまな工夫がされていた。その分利用客も、前者と比べ圧倒的に多かった。



阿武隈高原PA



安達太良SA



👉 液晶によってレシピの紹介も！



同じ商品でも…

見せ方に差がある!!



▲こっちの方が惹きつけられる！



4、 農家見学 …あかい菜園 (いわき市平赤井字日渡)

古滝屋の鴻野部長のもと、2月20日、あかい菜園に案内してもらった

(体調不良のため欠席。以下はインターン生の伊藤さん・星さんから聞いたことをもとにまとめたものである。)

○ あかい菜園株式会社

収益の**50%**以上が農業。一度農家をやめ、平成**17**年にプロジェクトを立ち上げ、**19**年に開業したもの。地域を活性化させようという目的もあった。

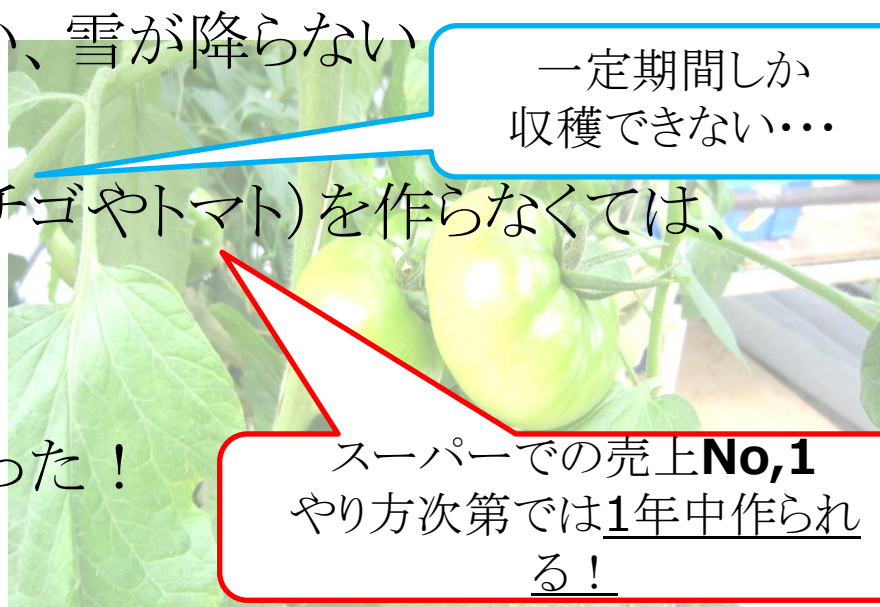
いわき…年間の日照時間長い、雪が降らない
⇒農業に適している！

一定期間しか
収穫できない…

そこで、単価が高めのもの(イチゴやトマト)を作らなくては、ということになる。

よって、トマトの栽培に踏み切った！

スーパーでの売上**No,1**
やり方次第では**1**年中作られ
る!



あかい菜園のトマト栽培について

◎養液栽培を取り入れている

↳植物の生長に必要な養水分を、液肥として与える栽培方法

◎ハチを飼育して受粉させている(1か月ごとにハチを入れ替え)

○安心・安全へのこだわり

管理された栽培方法、肥料のリサイクル使用など常に品質、環境を考えた栽培をしている

○栽培へのこだわり

常に同じ品質のトマトをお客様に届けられるよう、温度湿度、灌水量、肥料の配合まできめ細かく管理している

○社員のこだわり

「トマトに愛情を注ぐ」よく言われる言葉だが、社員も笑顔で楽しくトマトを育てている





▲あかい菜園の様子



売り方もさまざま



販路・売上について

<販路>

- サンシャイントマト出荷協議会へ入り、JA全農福島を通じて市場へ。
- 市場に出せないものは安く直売所で（いわきには加工品を作る業者がないため、直場所は重要）。



作ったものをロスなく販路に出せる

<売上>

- 相場によって左右され、市場は収入が安定しない・・・。
- 330t / 1ht → 1億1千万円

（JA:1億、その他:1千万円）

今後の課題

- 養液栽培について、エコファーマーがとれないこと（本当はエコな栽培なのに、納得いかない）。
- 市場を通してしているため情報を提供できない
- 情報が分かっているても手に入れる手段がない



5、 美和の手打ちそば講習会の見学・直売所の訪問

湯本散策の際、童謡館で出会った新妻 照子さんのもと、2月24日に美和・里山交流倶楽部によって行われている美和ふれあい館でのそば打ち講習会を見学。さらに、そのそばにあった直売所にも寄らせていただく機会があった。

I、 美和・里山交流倶楽部とは？

- シニア人材クラブが元になっており、NPOで農業支援を行っていたことから、約3年前に始まった。
- 地域において担い手のない農地を農村住民と都市居住のシニア世代が共同管理することで、「休耕地の再生」を図り、農作業や朝市・収穫祭を通じて交流を深め、「農村部と都市部の双方のシニア世代」に日々の生活の楽しさづくり、「生涯を通じた生きがいづくり」を提供することを目的に活動している。



Ⅱ、そば打ち講習会について

- 会長の田子 元彦氏の田んぼで作った小麦粉とそば粉で作っている → 商品化はしていないが、まさに地産地消！
- この参加者の中には、やはり続けていくにつれそばの魅力に惹かれて昇段試験を受け、有段者となった人もいるほどだから素敵である。
- 出来上がったお蕎麦をいただいたのだが、コシがありしっとりとした味わいで、今まで食べたことのないおいしさだった。

▼ そば打ち講習会の様子



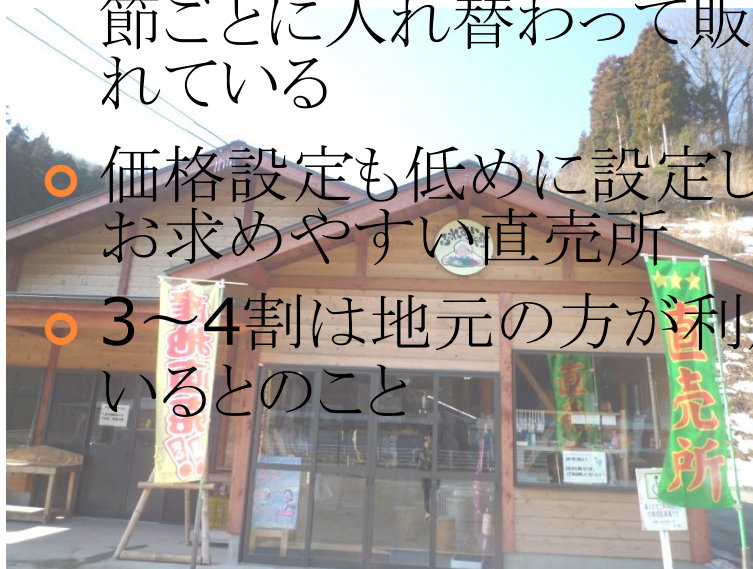
▲ お世話になった新妻さんと

Ⅲ、直売所 “ふれあい市場”について

- 平成20年11月にオープンしたこの直売所は、美和地区内で出荷を希望する農家を募集
→会員募集式
- 地域振興会が立ち上げ、2月24日現在、53件の周辺農家さんがふれあい市場に出荷
- 約600種の食材・商品が、季節ごとに入れ替わって販売されている
- 価格設定も低めに設定しており、お求めやすい直売所
- 3〜4割は地元の方が利用しているとのこと



▲直売所内の様子
レジ前には生産者の写真が貼られている
→“顔の見える農業”



<おわりに>

インターンシップ研修へ参加してみて

福島での研修は2週間のみではありましたが、「現場における視点」というものを実感した、濃い日々でした。途中で体調を崩したり、課題への取り組みが行き詰ってしまうこともありましたが、一緒にインターン生の人たち、そして湯本の温かい方々、素材広場のみなさんのおかげで充実した現地研修を終えることができました。私の旅行・観光関連の仕事に就きたいという思いも、よりいっそう強いものになっていますし、この経験は今後の就職活動に向けて、自分の中での大きな糧になると思います。しかし、現地研修を終えてまだ間もない3月11日の大地震により、つい先日までお世話になっていたいわき市も大きな被害を受けました。原発による風評被害もあります。こちら宮城県も大変な被害がありますが、福島に滞在し、観光地や食材に触れていたということを生かし、私も福島よさを広めてきます。

最後になりましたが、たくさんの貴重な経験を
どうもありがとうございました。

